

業 務 概 要 書

- 1 業 務 名 国道178号（道竹城トンネル）外非常用設備点検業務委託
- 2 業 務 場 所 岩美郡岩美町浦富外
- 3 履 行 期 間 令和9年3月25日限り
- 4 事 業 目 的
- 5 業 務 内 容 トンネル非常用設備点検業務
道竹城トンネル 一式
牧谷トンネル 一式
東浜トンネル 一式

位置図



数 量 総 括 表

工種	種別	細別	項目	規格	単位	当初	備考
1. 全体点検							
			保守点検(業務計画)				
			業務計画	既存設備	設備	3	道竹城、牧谷、東浜
			技術的所見のとりまとめ		設備	3	道竹城、牧谷、東浜
			保守点検(総合点検)				
			道路トンネル非常用装置		設備	3	6ヶ月毎 総合停電時の動作の確認12ヶ月毎
2. 個別点検							
①事務所							
			受信制御装置		基	1	6ヶ月毎
			監視盤		基	1	6ヶ月毎
②警察・消防							
			モニタ盤	県警本部,東部消防	基	2	6ヶ月毎
③道竹城トンネル							
			制御装置	通信機械室	基	1	6ヶ月毎
			副制御装置	通信機械室	基	1	6ヶ月毎
			警報表示板・補助警報表示板	板2(浦富側、岩美側) 補1(浦富側)	基	3	6ヶ月毎
			押しボタン式通報装置		基	48	6ヶ月毎
			非常電話機		基	14	6ヶ月毎
			誘導表示板		基	11	6ヶ月毎
			防災受信盤	通信機械室	基	1	6ヶ月毎
			無線通信補助設備	警察、消防用 (起点、終点)	基	2	12ヶ月毎
			消火器具	トンネル内96、機械室5	本	101	6ヶ月毎
			消火栓設備		式	1	6ヶ月毎 放水試験12ヶ月毎
			連結送水管		式	1	6ヶ月毎

数 量 総 括 表

工種	種別	細別	項目	規格	単位	当初	備考
			④牧谷トンネル				
			制御装置	東浜側	基	1	6ヶ月毎
			副制御装置	浦富側	基	1	6ヶ月毎
			警報表示板・補助警報表示板	板2(浦富側、東浜側)	基	2	6ヶ月毎
			押しボタン式通報装置		基	18	6ヶ月毎
			非常電話機		基	6	6ヶ月毎
			⑤東浜トンネル				
			制御装置	東浜側	基	1	6ヶ月毎
			副制御装置	浦富側	基	1	6ヶ月毎
			警報表示板・補助警報表示板	板2(浦富側、東浜側) 補1(東浜側)	基	3	6ヶ月毎
			押しボタン式通報装置		基	46	6ヶ月毎
			非常電話機		基	15	6ヶ月毎
			誘導表示板		基	10	6ヶ月毎
			消火器具		本	92	6ヶ月毎

国道178号（道竹城トンネル）外非常用設備点検業務委託
特記仕様書

- 1 業務の名称
国道178号（道竹城トンネル）外非常用設備点検業務委託（以下「本業務」という。）
- 2 業務の目的
本業務は、道路トンネルに設置している非常用設備の老朽化等による異常又は損傷を早期に発見し、良好な状態を保持し、常に必要な機能と信頼性を確保することを目的として実施するものである。
点検対象の道路トンネル：
道竹城トンネル（岩美町浦富）、牧谷トンネル（岩美町牧谷）、東浜トンネル（岩美町陸上）
- 3 業務期間
契約締結日から令和9年3月25日まで
- 4 適用範囲
本業務は、以下に示すトンネル非常用設備（一体となって機能する一連の設備・機器を含む）の点検に適用するものとする。
トンネル非常用設備とは、主制御装置、副制御装置、受信制御装置、警報表示板、モニタ盤、押しボタン式通報装置、非常電話機、防災受信盤、誘導標示板、無線通信補助設備、消火器具、消火栓設備、連結送水管を含む。
- 5 準拠すべき基準・指針
 - ① 電気通信施設点検業務共通仕様書（案）
（令和8年3月 国土交通省大臣官房技術調査課電気通信室）
 - ② 電気通信施設点検基準（案）（令和8年3月 国土交通省）
 - ③ 道路関係設備（機械設備）点検・整備・更新マニュアル（案）
（平成28年3月 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室、道路局国道・防災課道路保全企画室）
 - ④ トンネル換気設備・非常用施設点検・整備標準要領（案）
（令和8年3月 国土交通省大臣官房技術調査課施工企画室）
- 6 業務内容
 - (1) 業務計画
 - ① 現地踏査
契約締結後速やかに作業上必要な資料調査及び現地踏査を行い、工程、作業方法、安全対策等の必要事項を記載した実施計画書を発注者へ提出すること。
 - ② 関係機関等協議
交通規制の必要が生じた場合は、発注者と協議を行うものとする。また、その結果、交通規制を行う場合には、道路通行規制や道路使用等に係る資料を作成し、関係機関への手続きを行うこと。
 - (2) 保守点検
 - ① 点検内容
「電気通信施設点検基準（案）」及び「トンネル換気設備・非常用施設点検・整備標準要領（案）」に示すチェックシート及び「電気通信施設点検業務共通仕様書（案）」に基づき、トンネル非常用施設の設備・機器ごとの実態を十分に把握した上で、各設備・機器の動作状態、破損状況、腐食状況等の異常の有無や予備品不足等を確認する。
 - ② 応急措置（応急復旧又は修繕）
点検作業に伴い、緊急性を要する機能不全や動作不良等の異常を確認した場合は、速やかに発注者と協議して早急に応急復旧又は修繕し、実施した措置はそれが必要となったそれぞれの点検結果と関連付けて、発注者へ書面で直ちに報告すること。その場合、応急措置の着手前と施工後を比較可能な形式で取り纏めて、措置着手前に実施済みの点検結果から得た判定が、措置後に再度実施した点検では改善されていることが分かるように整理すること。

(3) 点検調書作成

「電気通信施設点検基準(案)」及び「トンネル換気設備・非常用施設点検・整備標準要領(案)」に示す点検・整備チェックシート、点検・整備総括表、点検・整備記録表を作成し、速やかに発注者へ提出すること。

その他、必要に応じて故障記録票、設備改良・更新記録表等を作成する。また、不良箇所が確認された場合、その内容及び概算工事費をまとめて発注者に協議し、可能な限り業務期間内に改良・更新又は修繕を完了できるよう対応すること。受注生産等で調達に時間を要する部品、生産終了等で調達困難な部品、高額なものなどについては、仕様書や見積(見積徴収先情報も含めること)のほか、代替品の有無や改造の要否も含めて、不良箇所を復旧するために必要となる情報を含めること。

7 修繕について

(1) 修繕の目的と範囲

ここでいう修繕は、トンネル非常用設備のうち、劣化・消耗・破損等の設備故障による機能の喪失によって道路利用者の安全に直接的影響を及ぼす恐れのある設備及び常時計測により状態監視、継続的な精度確保、欠測防止が重要な設備を、本来の機能を確保しながら機能不全を除去し、安全に、また継続的に使用できるようにすることを目的として実施する、定期点検には含まれないが併せて一連で実施すべき作業をいう。

修繕の範囲は、個別点検や総合点検時に報告された内容に基づき、速やかに実施することで早期に不良箇所・機能不全を改善可能で比較的軽微な内容とする。特に、使用継続を困難とする原因項目のうち応急措置で改善可能な項目については、本業務内で優先的に実施すること。

修繕には部品調達等に伴う増工の別途費用や追加の作業期間が必要となる場合も想定されるので、定期点検と併せて修繕を実施する際には、事前に点検技術者と十分に調整すること。業務計画において点検時に予め想定される修繕工数を見込んでおき、点検結果に基づき適宜変更契約のために協議するなどして、効率的に対応すること。

(2) 修繕の区分

トンネル非常用設備の修繕は、以下の5つに区分して、それぞれ対応することとする。

ア 調整

その場で対応可能な措置。設備・器具の機械的性能を維持するための作業。

例：ボルトの増締め、開閉部のすり合わせ、堆積物除去、可動部の清掃や注油、等

イ 補修

現状の強度に影響しない措置。設備・器具の部材表面の不具合を改善する作業。

例：ひび割れのコーキング詰め、ささくれの除去、防腐・防錆剤の塗布、等

樹脂製部材の傷や割れの穴埋め、パテ盛り、等

金属製品における規準不適合部分の是正処置(落下対策等)としての金属溶接、等

塗装の簡易な修復のために行うタッチアップ塗装、等

ウ 交換

設備・器具の部品・部材を新しいものに交換する作業(分割可能な一部、主に損耗する部材や劣化しやすい部分を想定)。

例：断線箇所、スイッチ類や不良基盤の取替

全部又は大部分の交換を伴わない、ボルト・金具などの交換、等

エ 補強

設備・器具の部品・部材の腐食又は欠損部分を新しい材料で補う措置。

必要に応じて構造部材も対象に含む。但し、構造部材に対する補強作業は安易に行わず、強度保証の範囲、材料や現場施工の品質管理方法について発注者へ承諾を得てから行うこと。

例：パネルや柱等の倒れ防止の補剛斜材追加、添え木や添え板、板材の重ね張り

金属部材への添設板溶接、基礎部等のモルタルコンクリート増し打ち等

オ 再塗装

設備・器具の美観維持と部材の保護をするための塗装作業。防錆や防蝕、防水機能のための塗布工法等により付与される機能を含む。

金属部材等の腐食に至る前に防蝕機能が低下した時点で実施する、素地調整を伴う塗装や、一般塗装から重防食塗装への変更も含む。

例：金属部材の端部や可動部、使用や接触に比例して塗膜が剥がれやすい箇所
地際の錆びやすい箇所、ボルト・ナット、等。

8 関連工事等について

本トンネル付近で調整が必要と思われる工事等があれば、交通規制や現地作業時の調整を十分に行うこと。

9 設計照査について

業務着手前に現地確認等事前調査を行い、本業務における作業内容の過不足や疑義等、照査結果について発注者へ報告すること。

10 緊急時対応について

点検時及び点検時以外にもトンネル非常用施設に不具合等が発生した場合は、状況を至急確認し、原因等について可能な限り情報収集するとともに、復旧に向けて実施すべき作業内容も含めて発注者へ随時報告し、協議のうえ必要な対応をすること。

11 成果品の提出

- ①業務報告書（点検写真含む） 前期1部、後期1部
- ②トンネル点検調書電子データ 2部

(受注者発議用)

業務委託に関する協議書

業務名		位置		
受注者				
履行期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
委託料	円			
協議事項				
上記のとおり協議します。		管理・主任技術者		
		令和 年 月 日		
承諾・指示の回答希望期限日	左記日程を希望する理由			
令和 年 月 日				
受付確認課長補佐 (主任調査員) 印				
回答理由				
概算増減額	約 千円 増・減			
上記のとおり(承諾・指示)してよろしいか伺います。				
令和 年 月 日				
所長	副所長	課長	合議	調査職員
上記のとおり(承諾・再協議)します。				調査職員
令和 年 月 日				
(上記のとおり承諾・別添のとおり再協議)します。				管理・主任技術者
令和 年 月 日				

(受注者発議用)

業務委託に関する協議書

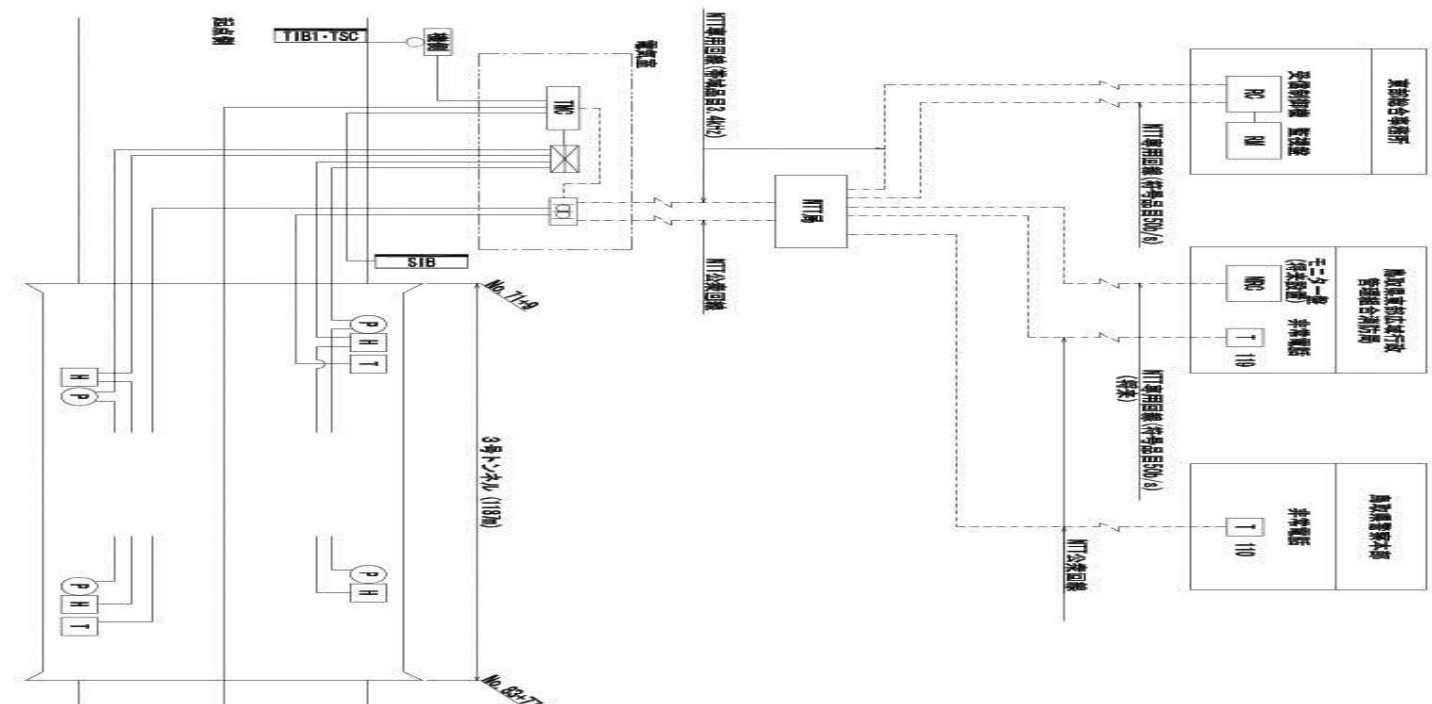
業務名		位置		
受注者				
履行期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
委託料	円			
協議事項				
上記のとおり協議します。		管理・主任技術者		
		令和 年 月 日		
承諾・指示の回答希望期限日	左記日程を希望する理由			
令和 年 月 日				
受付確認課長補佐 (主任調査員) 印				
回答理由				
概算増減額	約 千円 増・減			
上記のとおり(承諾・指示)してよろしいか伺います。				
令和 年 月 日				
所長	副所長	課長	合議	調査職員
上記のとおり(承諾・再協議)します。				調査職員
令和 年 月 日				
(上記のとおり承諾・別添のとおり再協議)します。				管理・主任技術者
令和 年 月 日				

トンネル台帳

[トンネル台帳]

名称		道竹城トンネル		路線名		一般国道178号		路線コード		15-178					
点名称		21_1117800004		管理番号		00004		管轄整備局名		鳥取土木事務所					
所在地	自	岩美郡岩美町浦富		距離標	自	10-7+35m		台帳作成日	平成28年12月						
	至	岩美郡岩美町浦富			至	13-1+27m		最終更新日	平成28年12月						
緯度・経度	自	35.5803781148196	134.330055348094	直近点検年月				点検による健全度							
	至							次回点検年度							
補修履歴年月				補修内容											
補修履歴年月				補修内容											
補修履歴年月				補修内容											
分割区分	コード	-		トンネル等級	A等級		舗装	種別	コンクリート舗装		施設の内訳	個数	備考		
	区分	上下線共有		交通量(台/日)	4,853			厚さ	0.25m					通報装置	非常用電話
一般有料区分		一般(無料)		大型車混入率			面積	11,328.4㎡		非常警報装置	押ボタン通報装置	48			
トンネル分類		陸上トンネル掘削工法		壁面種類	覆工(内装なし)		照明	種別	LED灯		火災検知器				
完成年次		2016年3月		天井種類	覆工(内装なし)		換気	灯数	213灯		警報表示板	2			
トンネル延長		1187.0m		坑門	起点	形式		面壁形・ウイング敷	自然・強制の別	自然換気		点滅灯			
土かぶり		max80.28m			終点	延長	7.3m		方式	-		音信号発生器			
内空断面積		標準部90.05㎡		延長		7.8m		台数	-		避難誘導設備	誘導表示板	11		
幅員	道路全幅	13.5m		竣工巻厚	アーチ	40~60cm		排水設備の種類	自然排水			排煙設備			
	車道幅員	3.5×2m			側壁	40~60cm		種類	-		避難通路				
	路肩幅員	2.5×2m			インバート	50~80cm		延長	-						
	歩道等	1.50m						面積	-						
高さ	建築限界	4.50m		半径	アーチ	949cm		他地域延長	都道府県名	-		消火設備	消火栓	48	
	中央高	7.51m			側壁	665cm			市区町村名	-			消火器	96	
	下半高	-			インバート	2,348cm			路線名	-			給水栓	12	
線形	縦断勾配	上り0.3%		占用物件	種類	規格		延長	-		その他の設備	無線通信補助装置	1		
	直線区間長	500m						施工業者	大林・大成・八幡			ラジオ再放送設備			
	曲線区間	区間長	687m						特定建設工事共同企業体			拡声放送設備			
		始点側クロノイド	227.2m					現況	設計速度: 80km/h			水噴霧設備			
		曲線半径	R1300						設計交通量 N=13,200台/日			ITV			
		終点側クロノイド	-					特記				非常電源設備			
トンネル工法	NATM工法(上半先進ベンチカット)								非常駐車帯	2					
									方向転換所						

非常用設備システム系統図



凡例

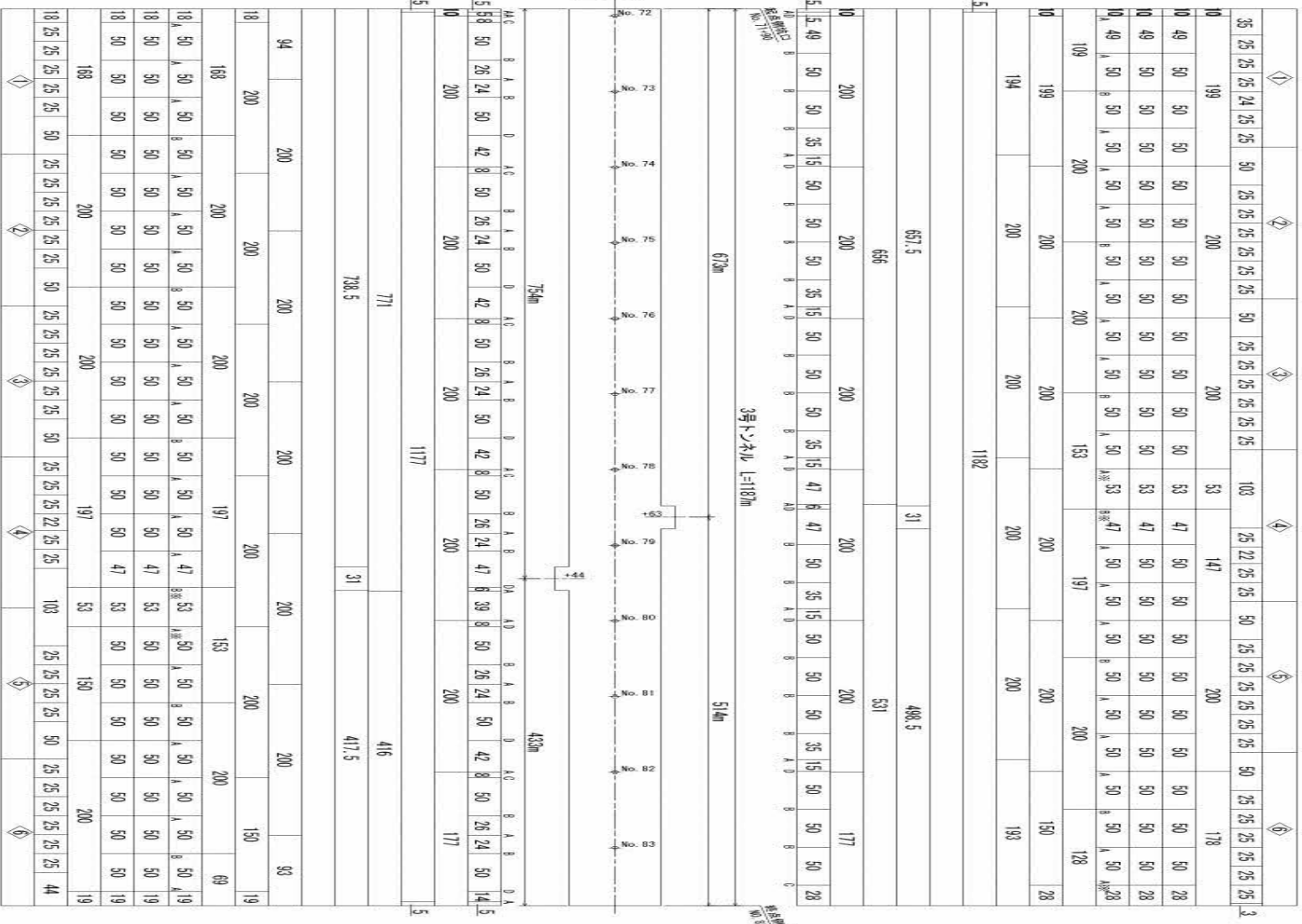
記号	名称	記号	名称
	警報指示板		制御室
	非常警報指示板		防火警報
	非常電話		緊急警報
	幹事方式通報装置(消火栓設置工事)		モニター室
	消火栓(消火栓設置工事)		監視盤
	主制御装置		保安設備

図名	一級河川(1)所(広域制御)
トピック	トピック(非常用設備工事(警報))
図名	非常用設備工事(警報)
位置	島根県松江市上ノ宮町
縮尺	mm
単位	mm
図号	全 23 葉中の 2
平成 23 年度執行	島根県
東部総合発電所(島根県) 島根県	

機器割付図 S=1:2000

設備項目	仕様	数量
手動通報区画	-	6
非常電話案内板	-	41
非常電話	有	7
押ボタン式通報装置	有	24
消火器	有	24
消火栓	有	24
給水栓	有	6
給水井	有	7
誘導表示板	有	5
照明立上管	無	1
非常警報装置	無	
非常警報装置	-	1
非常警報装置案内板	無	1
EIS壁	有	6
床内バッドホル	無	31

バッドホル=1階

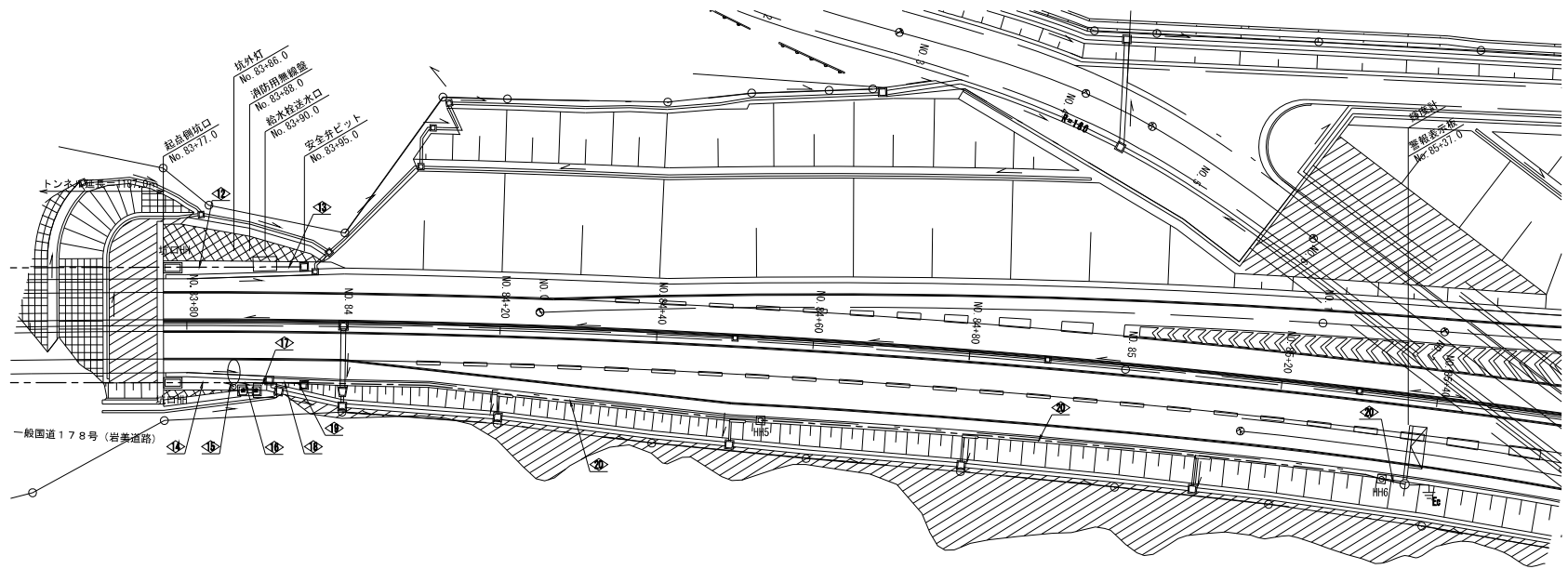


仕様	仕様	数量	単位
消火栓A型	押ボタン式通報装置、消火器付	18台	18台
消火栓B型	押ボタン式通報装置、消火器、給水栓付	6台	6台

注) ※は、消火栓ホース長(50m)を示す。

図名	一般図(1)外 平面機器割付
トンガ名称	新築用(機工)機割付
図名	機器割付図
位置	建設現場地上・建設現場不在
縮尺	1:2000
図号	全 23 画中の 3
平成 23 年度発行	建築業
東京都建設局 建築部	

終点側坑口配置図 S=1:300



記号	名称	仕様	備考
	警報表示板		本工事
	補助警報表示板		本工事
	消防用無線盤		別途工事
	給水栓送水口		別途工事
	坑外灯		別途工事
	坑外ハンドホール	900×900×900	別途工事
	配管配線		
	接地	C種接地	別途工事

	ヒーター電源	GV 3.5sq-3C	FEP30
	消火栓枝線	FCPEV-S 0.9-5P	FEP30

	TSC2電源	GV 14sq-2C	FEP30
	TSC2信号	FCPEV-S 0.9-5P	FEP30
	輝度計信号	FCPEV-S 0.9-3P	FEP30
	ヒーター電源	GV 3.5sq-3C	FEP30

	ヒーター電源	GV 3.5sq-3C	FEP30
--	--------	-------------	-------

	ヒーター電源	GV 3.5sq-3C	FEP30
--	--------	-------------	-------

	TSC2電源	GV 14sq-2C	FEP30
	TSC2信号	FCPEV-S 0.9-5P	FEP30
	輝度計信号	FCPEV-S 0.9-3P	FEP30
	照明OR電源	GV 3.5sq-2C, 1V6.5sq	FEP30
	無線通信 給電線	CF-10D	FEP50
	ヒーター電源	GV 3.5sq-3C	FEP30
	消火栓枝線	FCPEV-S 0.9-5P	FEP30

	TSC2電源	GV 14sq-2C	FEP30
	TSC2信号	FCPEV-S 0.9-5P	FEP30
	輝度計信号	FCPEV-S 0.9-3P	FEP30

	照明OR電源	GV 3.5sq-2C, 1V6.5sq	FEP30
--	--------	----------------------	-------

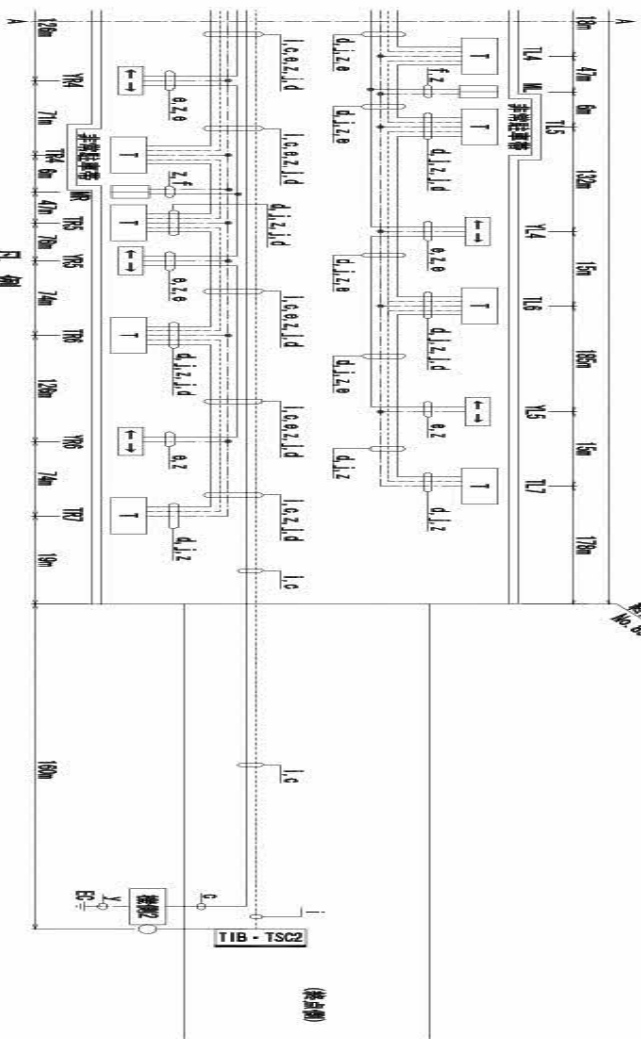
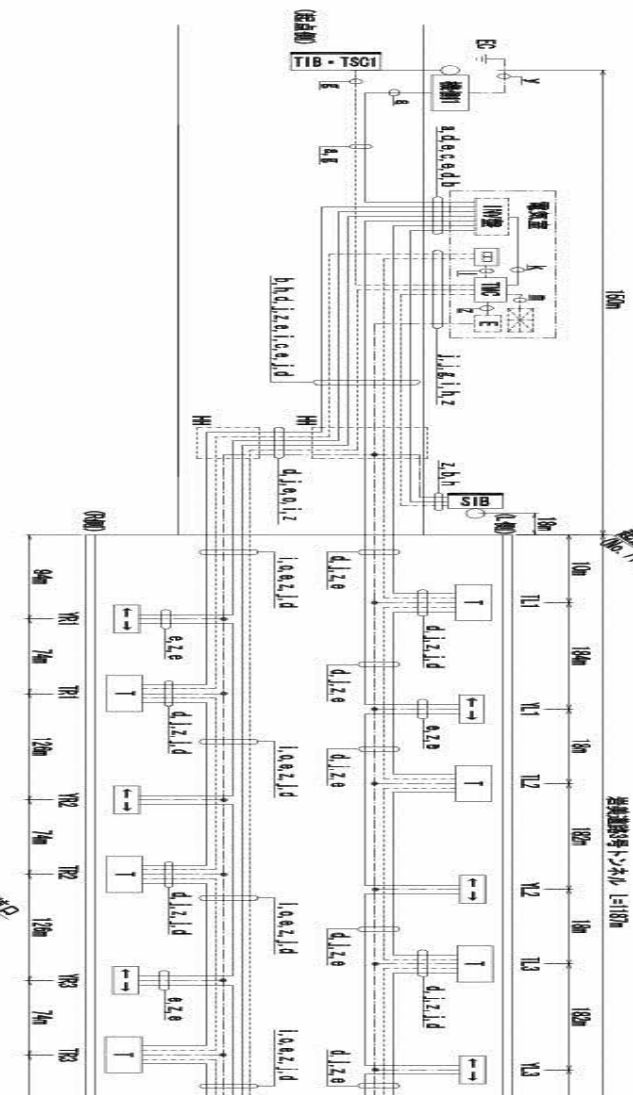
	無線通信 給電線	CF-10D	FEP50
--	----------	--------	-------

	ヒーター電源	GV 3.5sq-3C	FEP30
	消火栓枝線	FCPEV-S 0.9-5P	FEP30

路線名	一般国道178号(岩美道路)		
	トンネル非常用設備工事(電気)		
図名	終点側坑口配置図		
位置	岩美郡岩美町上 ~ 岩美郡岩美町本庄		
縮尺	1:300	単位	mm
図号	全 23 葉中の内 5		
平成 23 年度施行	鳥取県		
東部総合事務所県土整備局			

注) 内配管は本工事分を示す。

非常用設備配線系統図



使用ケーブル

記号	用途	機種	備考	記号	用途	機種	備考
a	機材 (TIB-TSC1) 電源	QK1-S3P-2C	AK415F	1	TIB-TSC1用号 (機材用)	FP2P-30-9-9P	
b	SIS電源	QK1-S3P-2C	AK415F	1	非常電源用号	FP2P-30-9-9P	
c	機材 (TIB-TSC2) 電源	QK1-S3P-2C	AK415F	k	機材用	QK1-S3P-2C	AK100V
d	非常電源用	QK1-S3P-2C	AK100V	1	伝送用号	FP2P-30-9-9P	機材
e	機材用電源	QK1-S3P-2C	AK415F	n	機材用号	FP2P-30-9-9P	
f	非常電源用電源	QK1-S3P-2C	AK415F				
g	TIB-TSC1用号 (伝送用)	FP2P-30-9-9P		y		YYSQ	
h	SIS用号	FP2P-30-9-9P		z	接地	YS-S30	

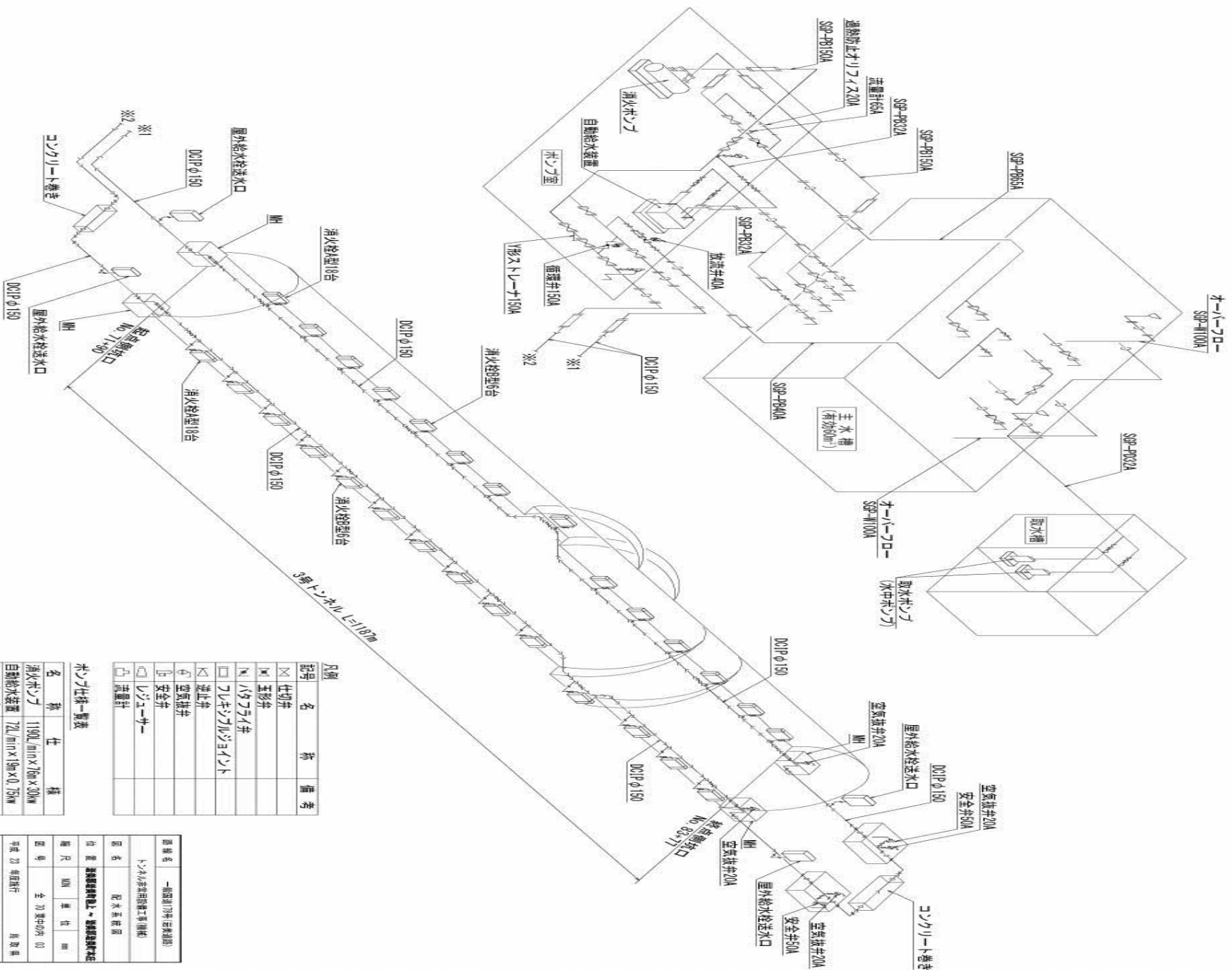
凡例

記号	名称	仕様	記号	名称	仕様
TIB-TSC	機材用	制御盤設置位置	NO	主制御装置	室内自立形
機材	機材用機材		防犯装置	(別添)	
SIS	非常電源用		E	接地端子箱	(別添)
T	非常電源		消遣	消遣	(別添)
←→	電源指示			信号線	
□	非常電源用端子箱	□式、両面形		電源線	—+— 電源線分岐 (室内)
○	保安装置	室内用形状		接地線	—+— 接地線分岐 (室内)

(注) 記号 □ 及び○工事表示。

図表名	一般図表 (TIB-TSC1) 非常用設備
トピック	非常用設備用配線工事 (電気)
図名	非常用設備配線系統図
位置	非常用設備設置上 - 非常用設備設置下
図尺	mm 単位 1:1
図号	全 23 圖中の 6
平成 23 年度発行	図表 6
東京総合研究所 工事部	

配水系統図 S-NON



凡例

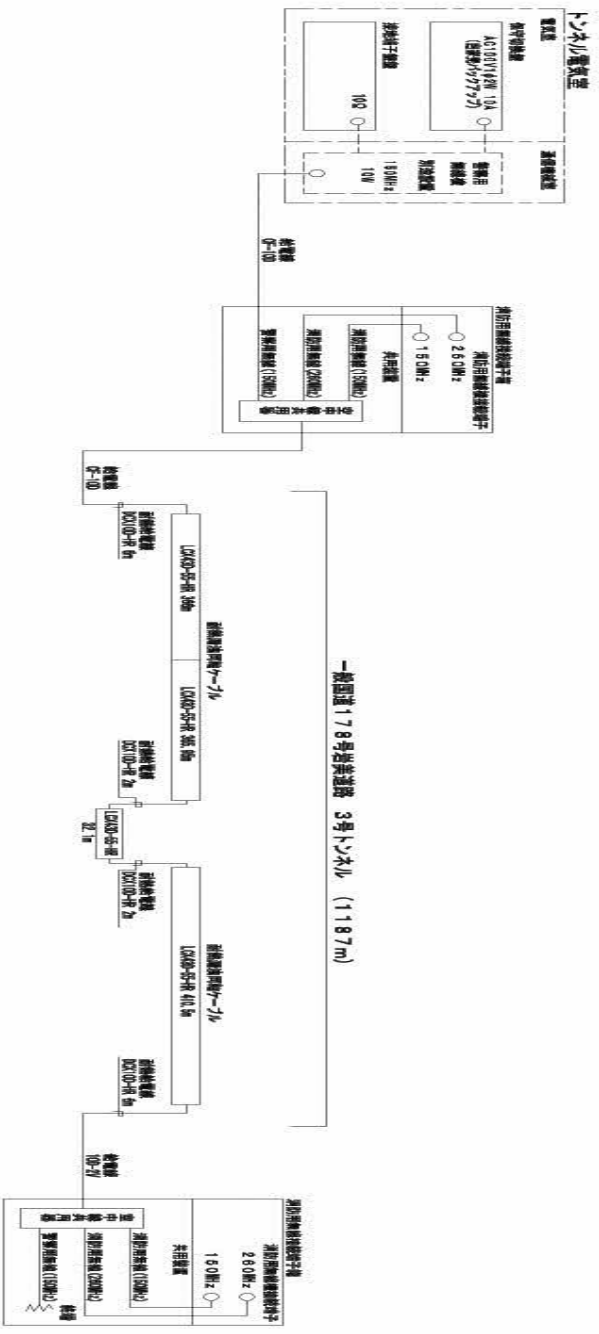
記号	名	称	備考
×	仕切弁		
⊗	玉形弁		
N	ハタフラ弁		
□	フレジブルジョイント		
▽	逆止弁		
△	空気抜き		
⊂	安全弁		
□	リゾーサー		
◇	流量計		

ホウ室仕様一覧表

名	称	仕	様
消火ポンプ	1190L/min	φ76	×30W
自動給水装置	72L/min	φ50	×0.75W
取水ポンプ	90L/min	φ50	×0.75W

図様名	一般図(1)の併用図(給水設備)
トンネル名	トンネル(本管用)掘削工事(掘削)
図名	配水系統図
作業者	清水建設株式会社
図尺	1/100
単位	mm
図号	全 10 図中の第 03
平成 23 年 10 月 10 日	清水建設株式会社
製図者	清水建設株式会社 土木部

無線通信補助設備 システム系統図



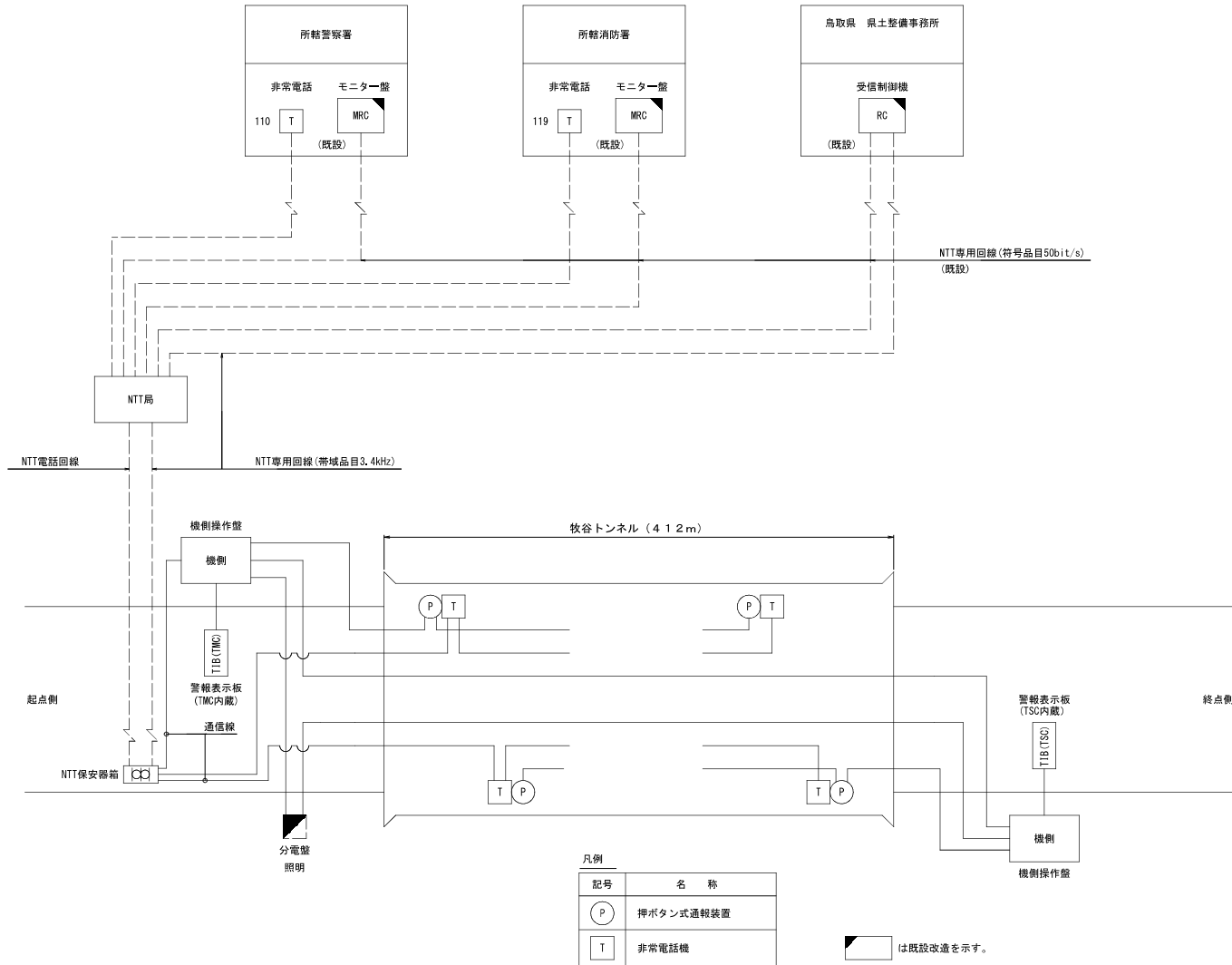
設備名	一般国道178号国道道路
種別	無線通信補助設備工事
区名	鶴岡市鶴岡地区のふるさと緑地
位置	鶴岡市鶴岡地区上～鶴岡市鶴岡地区下
総尺	-
単位	m
区号	全 15 区中の区 2
平成 23 年度実行	田 中 景
東野総合事務所土木部	

トンネル台帳

[トンネル台帳]

名称		牧谷トンネル		路線名		国道178号		路線コード		15-178						
点名称		21_1117800006		管理番号				管轄整備局名		鳥取県土整備事務所						
所在地	自	鳥取県岩美郡岩美町牧谷		距離標	自			台帳作成日		令和5年4月10日						
	至	鳥取県岩美郡岩美町牧谷			至			最終更新日								
緯度・経度	自	35.58578	134.34577	直近点検年月				点検による健全度								
	至	35.58779	134.34206					次回点検年度								
補修履歴年月				補修内容												
補修履歴年月				補修内容												
補修履歴年月				補修内容												
分割区分	コード			トンネル等級	C 等級		舗装	種別	コンクリート舗装		施設の内訳	個数	備考			
	区分	上下線供用		H11交通量(台/日)	7,600 台/日			厚さ	25cm					通報装置	非常用電話	
一般有料区分	一般(無料)		大型車混入率	10.3%		面積	4,115.9㎡		非常警報装置	押ボタン通報装置		18				
トンネル分類・工法	山岳トンネル NATM工法		壁面種類	覆工コンクリート		種別	LED灯			火災検知器		—				
完成年次	令和5年(2023年)		天井種類	覆工コンクリート		灯数	119		トンネル非常用施設	警報表示板		2				
トンネル延長	412m		坑門	起形式	面壁		自然・強制の別	自然換気		点滅灯		—				
土かぶり	68.5m			終形式	延長	0.70m		方式	—		音信号発生器		—			
内空断面積	89.5㎡		延長		延長	0.80m		台数	—		避難誘導設備	誘導表示板		—		
幅員	道路全幅	12.0m		竣工巻厚	アーチ	40~45cm		ロードヒート	種類	—		排煙設備		—		
	車道幅員	3.5m×2			側壁	40~45cm			延長	—		避難通路		—		
	路肩幅員	1.75m×2			インバート	0Cm, 50cm			面積	—				—		
	歩道等	監査歩廊0.75×2(両側)							排水設備の種別		円形水路					
高さ	建築限界	4.5m		半径	アーチ	7,590mm		他地域延長	都道府県名		消火設備	消火栓		—		
	中央高	7.3m			側壁	5,080mm			市区町村名			消火器		—		
	下半高	*			インバート	23,890mm			路線名			給水栓		—		
線形	縦断勾配	上り2.775%		種類	規格	管理者名		延長			その他の設備	無線通信補助装置		—		
	直線区間長	126.493m							施工業者			ラジオ再放送設備		—		
	曲線区間	区間長	285.507m						フジタ・美穂建設JV (株)藤原組			拡声放送設備		—		
		始点側クロノイド	A=400						現況			水噴霧設備		—		
		曲線半径	700m						設計速度: 80km/h			I T V		—		
終点側クロノイド	*						特記		照明設備: イナバ電気(株) 非常用設備: (株)東邦通信		非常用電源設備		—			
トンネル工法	NATM工法										非常駐車帯		—			
											方向転換所		—			

防災システム系統図

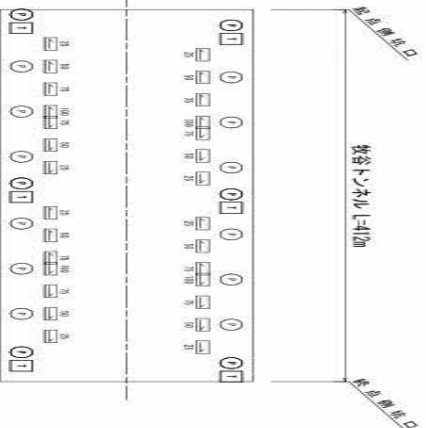


A1縮小率 50%

防災機器割付図

機器名称	種別	台数
AVパネル	-	9
非常電話案内板	-	14
非常電話	0	3
非常式通報装置	0	3

25	50	50	37	37	50	50	50	13
50	25	25	12	25	50	25	12	25
25	107				107		13	
25	50	50	37	37	50	50	50	13




機器名称	種別	台数
非常式通報装置	0	9
非常電話	0	3
非常電話案内板	-	14
AVパネル	-	9

13	50	50	37	37	50	50	50	25
13	107				107		25	
20	25	25	12	25	50	25	12	25
13	50	50	37	37	50	50	50	25

尺牘

記号	名称	出積
1	非常電話	*
0	非常式通報装置	14型
0	非常電話案内板	*

AI縮小率 50%

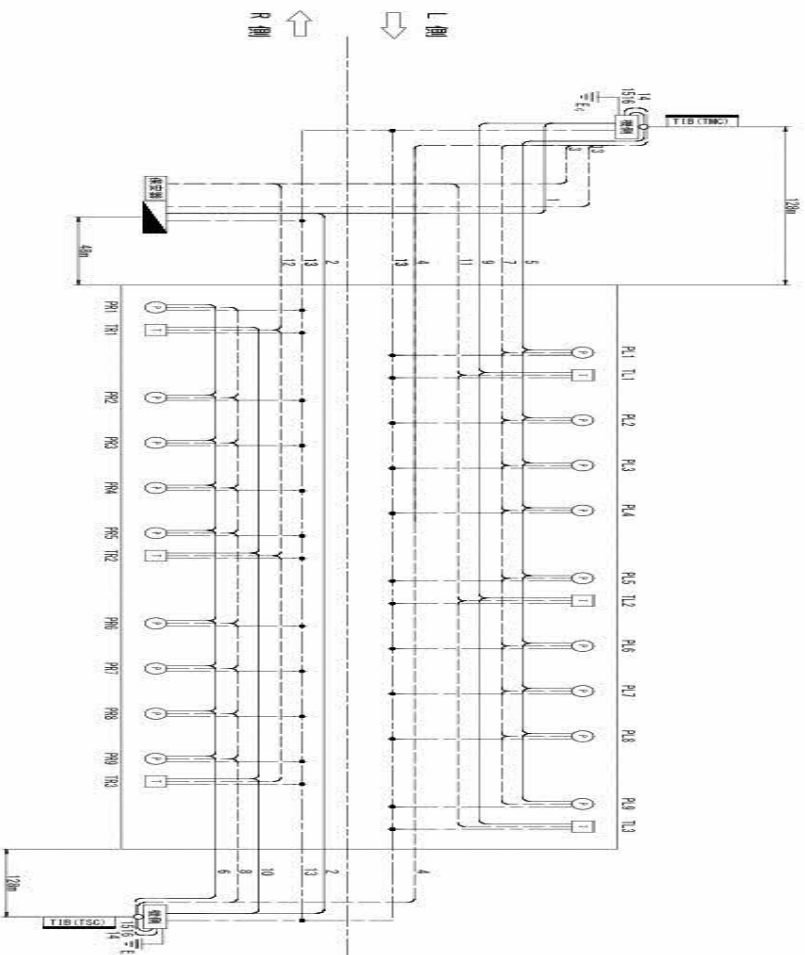

株式会社東邦通信
 TEL (0857) 30-4361 FAX (0857) 30-4362

作成年月日 縮尺
 令和5年1月 1/200

工事名称
 図面名称

国道178号(岩美道路)牧谷トンネル非常用設備設置工事(補助)(国補正)
 防災機器割付図 (完成図)

防災設備配線系統図



配線表

記号	用途	規格	メーカー
1	警報表示用(110V)制御電源	OV1.5mV-30	ADA001
2	警報表示用(110V)制御電源	OV5.5mV-30	ADA001
3	伝送信号線	FR95-031-4号	
4	通信信号線	FR95-031-4号	
5	赤色表示灯点灯用(警)電源線	OV1.5mV-30	ADA001
6	赤色表示灯点灯用(警)電源線	OV1.5mV-30	ADA001
7	赤色のび(伝点)用(信)信号線	FR95-031-4号	
8	赤色のび(伝点)用(信)信号線	FR95-031-4号	
9	非常電話(伝点)用(信)電源線	OV1.5mV-30	ADA001
10	非常電話(伝点)用(信)電源線	OV1.5mV-30	ADA001
11	非常電話(伝点)用(信)信号線	FR95-031-4号	
12	非常電話(伝点)用(信)信号線	FR95-031-4号	
13	照度調整用信号線	FR95-031-4号	
14	機器間付属ケーブル	-	3本
15	警報表示用電源	OV5.5mV-30	ADA001
16	警報表示用電源	OV5.5mV-40	ADA001

R側

記号	名称	仕様
▲	照度制御線	
■	保安線	
□	警報表示線	制御信号線
○	警報表示線	照度調整用線
○	非常電話	
○	非常のび(伝点)用電源線	5線
○	非常のび(伝点)用信号線	

A1縮小率 50%

 株式会社東邦通信 TEL (0857) 30-4361 FAX (0857) 30-4362	作成年月日	縮尺	工事名称	国道178号(岩美道路)牧谷トンネル非常用設備設置工事(補助)(国補正)
	令和5年11月	1/2000	図面名称	防災設備配線系統図 (完成図)
				4/27

トンネル台帳

[トンネル台帳]

名称		東浜トンネル		路線名		国道178号		路線コード		15-178											
点名称		21_1117800005		管理番号				管轄整備局名		鳥取県土整備事務所											
所在地	自	鳥取県岩美郡岩美町陸上		距離標	自			台帳作成日		令和5年4月10日											
	至	鳥取県岩美郡岩美町牧谷			至			最終更新日													
緯度・経度	自	35.59356	134.35944	直近点検年月				点検による健全度													
	至	35.58783	134.34914					次回点検年度													
補修履歴年月				補修内容																	
補修履歴年月				補修内容																	
補修履歴年月				補修内容																	
分割区分	コード	トンネル等級		B 等級		舗装	種別	コンクリート舗装		施設の内訳		個数	備考								
	区分	上下線供用		H11交通量(台/日)			7,600 台/日		厚さ	25cm		通報装置	非常用電話		15						
一般有料区分		一般(無料)		大型車混入率		10.3%		面積	11,381.3㎡		押ボタン通報装置		46								
トンネル分類・工法		山岳トンネル NATM工法		壁面種類		覆工コンクリート		照明	種別	LED灯		非常警報装置	火災検知器		—						
完成年次		令和5年(2023年)		天井種類		覆工コンクリート			灯数	167			警報表示板		2						
トンネル延長		1,133m		坑門	起点	形式	面壁		換気	自然・強制の別	自然換気		避難誘導設備	点滅灯		—					
土かぶり		97.6m			延長	0.60m		方式		—		音信号発生器		—							
内空断面積		90.1㎡		終点	形式	面壁		台数	—		誘導表示板		10								
幅員	道路全幅		12.0m		竣工巻厚	延長	0.80m		排水設備の種類別		円形水路		消火設備	排煙設備		—					
	車道幅員		3.5m×2				アーチ	40~45cm		ロードヒート	種類	—		避難通路		—					
	路肩幅員		1.75m×2				側壁	40~45cm			延長	—				—					
	歩道等		監査歩廊0.75×2(両側)				インパート	00cm, 50cm		面積	—				—						
高さ	建築限界		4.5m		半径	アーチ	7,480mm		他域延長	都道府県名		その他の設備	消火栓		—						
	中央高		7.3m			側壁	5,470mm			市区町村名			消火器		92						
	下半高		*			インパート	25,030mm			路線名			給水栓		—						
線形	縦断勾配		下り0.3~3.0%		占用物件	種類	規格	管理者名	現況	延長		特記	無線通信補助装置		—						
	直線区間長		99.0m							施工業者	鴻池・青木あすなる・美保テクノスJV		ラジオ再放送設備		—						
	曲線区間	区間長		1,034m							現況		(株) 藤原組		拡声放送設備		—				
		始点側クロソイド		A=400						特記			設計速度: 80km/h		水噴霧設備		—				
		曲線半径		1,200m									特記	照明設備: (株) 吉備総合電設		I T V		—			
		終点側クロソイド		A=400										特記	非常用設備: (株) 吉備総合電設		非常用電源設備		—		
	トンネル工法		NATM工法								特記				非常駐車帯		2				
								特記				方向転換所		—							

